

FMS便り

120年の歴史

3学期始業式(1月9日)
校長講話

【第7号】

令和7年1月14日(火)
信州大学教育学部附属松本小学校

今日のお話



附属小の歴史(れきし)について



全校の皆さん、明けましておめでとうございます。今年のお正月は暖かな日が続き大きな災害もなくとても穏やかでしたね。初日の出もきれいに見えました。左の写真は知り合いの先生が送ってくれた松本城からの初日の出です。令和7年は皆さんにとってどんな年になるでしょうか。よい年になるといいですね。今年は、この附属松本小学校にとって開校120周年の年になります。附属小は120歳になるんですよ！



では、120年の歴史を少し振り返ってみます。20年前平成17(2005)年が100周年でした。当時の子ども達が校庭に出て文字や模様を作って、記念の航空写真を撮っています。写真を見ると信大の道路側の校庭には、まだ茶色の歩道が作られていませんね。和行堂もフェンスで囲われていません。校舎の方を見てみると、屋上にはソーラーパネルが設置され、自然エネルギーの活用が始まっていることが分かります。



この20年前の学校の様子を見ると、運動会で組み体操をやっていました。今と変わっていませんね。縦割り清掃も行われています。「附属小オリンピック」と言っても、今の児童会祭りのようなものもありました。あと、お家から自分の自転車を持ってきて校庭で交通安全教室が行われています。これは今はもうありませんね。



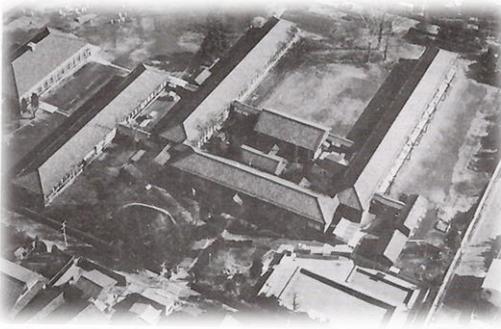
続いて、40年前の80周年記念、昭和60(1985)年です。もはやカラー写真ではありません。樹木がまだ小さいので丸池がきれいにはっきり見えますね。あと、校舎の屋上にはソーラーパネルはありませんね。学級の様子を見てみると、今の2年東組はアイガモさんを飼っていますが、当時の2年西組では九官鳥を飼っていたそうです。九官鳥の「九ちゃん」という名前です。



みなさんこの銅像知ってますね。中庭にある「希望」の像です。80周年記念の時に建てられたものです。この銅像を創った「洞澤 今朝夫」さんは、像を創るにあたりこの附属小を訪れた時、子どもたちの元気なあいさつ、真剣な眼差しで勉強に取り組む姿、明朗で優しい気な雰囲気を感じ、この子どもたちの未来の明るさを感じ「希望の像」という名前にしたそうです。今のみなさんはどうでしょう？優しい雰囲気で仲良くできていますか？



次の写真は、この校舎が出来た時の写真です。昭和44(1969)年今から55年前に完成しました。校長先生も生まれていません。昇降口の前の部分ピロティーがとても広いですね。今職員室になっている部分がないんです。昔は職員室は2階にあったそうです。



では、今の校舎の前の校舎はいつできたのでしょうか。それは明治41（1907）年です。丸池はありませんね。当然、コンクリートではなく木造の校舎です。校舎は、北校舎・中校舎・南校舎があり、できた時にはまだプールはありませんでした。プールができたのは、昭和35（1955）年です。



プール（35年建設）

昭和27(1952)年
校章制定



清らかさと活力
に満ちた子ども

次に、附属小の校章・シンボルマークについてです。みなさんこのマーク見たことありますね？昭和27（1952）年に制定されました。信州大学のシンボルであるコマクサ（駒草）の花を、子どもたちが手をつないでいるように図案化したものです。花びらの白・葉の緑・小の字の赤は、清らかさと活力に満ちた子どもを象徴しています。こうした願いが込められたものです。

まとめ

「むかしを知る」ことで...

- ・続けていくこと
 - ・新しく挑戦すること
- を考えたい！

120周年をとおして、昔を知ることで、今話してきたように附属小学校が大切にしてきたことを知り、これからも引き続き何を大切にしていくのかを考えたり、逆に令和の時代になって新しく挑戦していくことは何かを考えたりするよい機会になるのではないかと思います。今、紹介しきれなかった附属小の歴史はまだたくさんありますから。

今日のお話



どんな120周年
になるとよい
ですか？

先生たちやPTAの皆さんと、どんな120周年になるとよいか少しずつ計画を立てて散るところです。これまでと同じように記念写真を撮ったりどなたかその道に秀でた方に講演をしてもらったりと考えています。全校のみなさんにもぜひ考えてもらって、児童会主催の行事もできたらいいなと思います。児童会の会長選挙も始まります。来年度の児童会を進める5年生のみなさんよいアイディアを出してくれると嬉しいです。みんなで素敵な120周年にしていきたいと思います。

みんなで
素敵な120周年
にしましょう！



三学期始業式

